

記者の違いからみた *The Catcher in the Rye* の魅力

☆ レポートのテーマ

- ・ *The Catcher in the Rye* の著者および翻訳者とはどのような人物か？
- ・ 村上訳と野崎訳では、どのような違いがあるか？
- ・ 作品が社会に与えた影響はどのようなものだったか？

1. *The Catcher in the Rye* (1951, J.D サリンジャー著)とは

- ・ 若者の反抗心を多弁的な 1 人称の語り口で描いた作品として今でも世界中で読みつかれている。
- ・ 日本では、橋本福夫、野崎孝、村上春樹の 3 人が翻訳している。
橋本福夫訳は『危険な年齢』(1952 年)
野崎孝訳は『ライ麦畑でつかまえて』(1964 年)
村上春樹訳は『キャッチャー・イン・ザ・ライ』(2003 年)

ストーリー

主人公のホールデンは高校生である。高校では成績不振で、クリスマス休暇をもって退学を命じられる。その休暇前の土曜の午後から月曜の昼までの 3 日間の出来事が、「僕」という一人称のくだけたおしゃべりで語られている¹⁾。

2. *The Catcher in the Rye* の著者および翻訳者

2. 1 J.D. サリンジャー(1919 年, ニューヨークに生まれる)

- ・ アメリカ人の小説家。1951 年, 10 年間の労作『ライ麦畑でつかまえて』で一躍脚光を浴びた。
- ・ 他に『九つの物語 (ナイン・ストーリーズ)』(1953), 『フラニーとゾーイ』(1961)等を書いている。
- ・ 65 年以後は作品も発表しなくなり, 完全に世間との交渉を絶って隠遁生活を送っている¹⁾。

2. 2 野崎孝(1917-1995 年, 青森県に生まれる)

- ・ 昭和 35 年中央大教授, 46 年都立大教授, 56 年帝京大教授。
- ・ 現代アメリカ文学の翻訳で知られた²⁾。

2. 3 村上春樹(1949 年, 京都に生まれる)

- ・ 『風の歌を聴け』(1979)「群像」新人文賞受賞。『ノルウェイの森』(1987) 年 270 万部の売り上げ。
- ・ カーバー, フィッツジェラルド等, 現代アメリカ文学を中心に, 20 年間で約 40 点もの翻訳を手がける。
- ・ 「他人の靴に自分の足を突っ込む姿勢」³⁾

3. 村上訳と野崎訳の違い

3. 1 登場人物のイメージの違い

- ・ 主人公ホールデンの場合
野崎訳…下町のツツパリ風でやんちゃ坊主
村上訳…ぐちぐち言う引っ込み思案の少年
- ・ 妹のフィービーの場合
野崎訳…生意気で素敵なことを言う妹

3.2 文体の違い

- ・文末が違う

野崎訳…「よ」「ね」「さ」「ぜ」などの、語りを際立たせる文末

村上訳… 客観性の強い「た」「い」などの文末

- ・「反抗の文学」と「心理学的な小説」

具体例1 「いやはや」と「くそくらえ」の違い

具体例2 「先生の話」の部分

野崎訳 “わたしが君を落第させたのは間違っていると思うかね、坊や。”

村上訳 “私が君を落第にしたことで私を責めるかね、あーむ？”⁴⁾

4. ライ麦畑が社会に与えた影響

4.1 アメリカでの出来事

事例① 発刊当初子供たちに悪影響を及ぼすという理由から検閲された。

事例② アメリカの高校で授業のサブテキストとして採用しようとした教師が校長により阻止され、即日禁書になり、その教師も退職になってしまった。

4.2 考えられる要因

- ・ “多くの若者が抱く大人社会の偽善性や社会に対する反抗心を、若者の視点で生き生き” を中心に描かれている。
- ・ 若者のある時期に発生する、社会に対する反抗心や戸惑いなどの若者特有の心情が、ホールデンと共感し、結果、熱狂的なファンが増えた。
- ・ 50年代のアメリカの保守的なアメリカ社会が危険視し、検閲してしまった⁵⁾。

◇ 章立て

1. *The Catcher in the Rye* とは
2. *The Catcher in the Rye* の作者および翻訳者
 2. 1 J.D. サリンジャー (1919年, ニューヨークに生まれる)
 2. 2 野崎孝 (1917 - 1995年, 青森県に生まれる)
 2. 3 村上春樹 (1949年, 京都に生まれる)
3. 村上訳と野崎訳の違い
 3. 1 登場人物のイメージの違い
 3. 2 文体の違い
4. ライ麦畑が社会に与えた影響
 4. 1 アメリカでの出来事
 4. 2 考えられる要因
5. まとめ

参考文献

¹⁾ “サリンジャー”. 日本百科全書 10. 東京, 小学館, 1986, p.285.

²⁾ “野崎孝”. 20世紀日本人名事典 そ・わ. 東京, 日外アソシエーツ, 2004, p.1941.

³⁾ 朝日新聞. 村上春樹がわかる. 東京, 朝日新聞社, 2001, p.86-91.

⁴⁾ Ken Inoue. “Caught in a Rye” 村上春樹サリンジャー訳は旧訳とどう違う? AERA臨増. Vol.16, p.16-20.

⁵⁾ 都甲幸治. 特集: サリンジャー再び. サリンジャーにおける愛と死 - 『ライ麦畑でつかまえて』はアメリカでどう読まれてきたか. 文藝界. Vol.57, no6, 2003, p.317 - 322.